

ユーザー通信

三重発

大豆、野菜を栽培する。水路や側溝、水田周囲に張り巡らせた獣害防止用の電気柵付近などの草刈りは、刈り払い機での慎重な作業が欠かせない。

そこで組合員5人が「エアー」を購入した。理事の三重県伊賀市の農事組合法人ありびあ伊賀は、昨年2月に発定した集落営農内保幸作さん(55)もその組織だ。水田30畝を経営し、一人、内保さんは通常、水稲20畝、二毛作の小麦、「エアー」を安定板に使

て刈り刃だけで作業する。刈り刃の時はナイロンコードを「エアー」に装着して刈り刃と併用し、じゃり地など刈り刃が使いにくい場合はナイロンコードだけ合はナイロンコードだけ2本のナイロンコードを差し込むだけで「とても楽だ」という。

「地をはわせる感覚が扱えるので野、感じ、長時間の作業でも疲れない。腰痛持ちなのでありがたい」と内保さん。おわん状の「エアー」が刃と二体となって回転し、地面を滑るように草を刈れるためだ。地面に凸凹があってもスムースに移動し、刈り払い機を持ち上げて刃先を浮かせる必要がない。

と強化できないか」と要望する。

は5倍。するように草を刈る「地ずり」、作業ができて、体への負担が軽い。ナイロンコード8本付きで希望小売価格は2350円。問い合わせは北村製作所、電話059(256)5511。

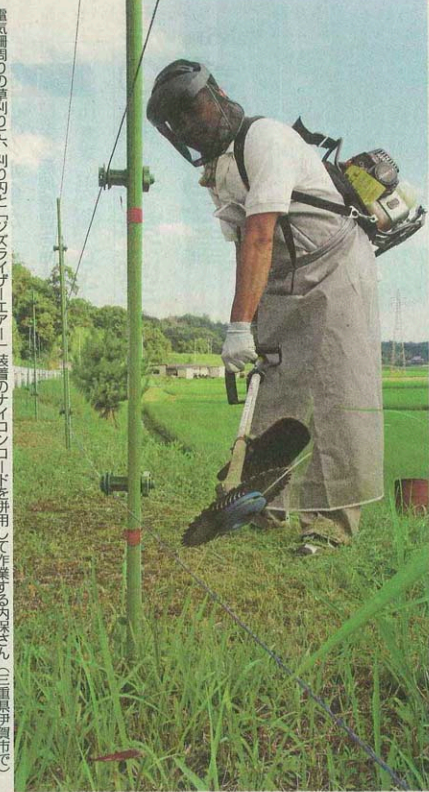
あぐりぴあ伊賀 (水田経営)



刈り刃と併用も 1台で使い分け コードの強化を

勝手を聞いた。

利用できる。刃と二体となって回転する安定板のため、刃先を地面に付けてスムースに草を刈れる。活用する法人に使用



夏場は草刈りに追われる毎日が続く。電気柵の支柱周りで急いで作業すると、近付き過ぎてナイロンコードが支柱に引っ掛かることもある。「軽く引く張ればすっと取れるが、すり減りも早くなる。コードをもっ

から、すり減りの少ないコードを検討しているところだ。」「エアー」を使えば、刈り刃用とナイロンコード用の2台の刈り払い機を用意する必要がない。現在、コードを製造するメーカーに相談しな



改良品を検討
ナイロンコードで際刈りする場合、できるだけコードの先端部が当たる程度で作業してくだ
返信
草する必要が
用2台の刈り払い機を用
社長の(画)

電気柵周りの草刈りに、刈り刃と「ジズライザーエアー」を併用して作業する内保さん(三重県伊賀市で)